



霧が丘

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/kirigaoka/>

E-mail:y3kiriga@edu.city.yokohama.jp

横浜市立小中一貫校
霧が丘小中学校（小学校）
平成 27 年度通算第 222 号
平成 28 年 2 月 29 日発行
児童数 665 学級数 22

千一ム霧が丘

准校長 宇都宮 桂

3月＝弥生を迎えました。「弥生」とは「弥（いや）」＝いよいよ、「生（おい）」＝草木が芽吹くこと、草木がだんだん芽吹く月で「弥生」となったと言われています。また、「花見月（はなみづき）」、「桜月（さくらづき）」「夢見月（ゆめみづき）」とも言われます。

さて、3月は学校にとって一年間をしめくくる月になります。6年生は卒業式まで登校日は15日、他の学年は18日で修了式を迎えます。この1年間で、子ども達は心も体も大きく成長したと思います。国語や算数等の授業で、係や当番、クラブ、委員会等の活動で、子ども達のキラキラした笑顔やたくさんの輝く姿＝「スマイルきりっ子」の姿が見られました。

これ以外でも私は子ども達に「思いやりの心」が育ってきたと感じています。最近、次のようなことがありました。登校時、下級生が赤道で怪我をしたとき、見つけた高学年の児童が「先生！小さい子が怪我をして泣いています」と門に立っている私に駆けつけてくれました。また、下校時、兄や姉といっしょに帰るつもりで門で待っていた下級生に、兄や姉が先に下校したことが分かったと「私といっしょに帰ろう」と手を取りその子の家のそばまでいっしょに下校してくれました。さらに、休み時間等に上級生が下級生に「よお！〇〇くん！元気ー？」と優しく声を掛けたり、朝練をしている上級生に下級生の子が「〇〇兄ちゃん！がんばれー！！」と応援をしたりしていました。このように異学年の子ども達がお互いのことを思いやり、声を掛けたり、行動できたりする姿は、大変すばらしいと感じました。これは、子ども達からとったアンケート結果からも伺えます。おそらくペア学年（1・6年、2・5年、3・4年）等でいっしょに遊んだり、授業を見合ったりした活動等が生かされているのだと思います。中学生との活動を含め、今後もこの活動は継続していきます。

そんな中、3月19日(土)には、第6回卒業証書授与式を迎え、129名が中学校へ巣立ちます。6年生は小学校の最上級生として、明るく楽しい学校めざして、きりっ子リーダータイムや委員会・クラブ活動等で中心となり、在校生をリードしてきました。また、5年生も含め、地域行事にも積極的に参加し、人や地域とつながりが出来ました。

「人」という字は、「互いに人が支え合っている」という見方があります。人は集団の中で生きていきます。自分が一生懸命努力することはもちろん、友だち、家族、学校の教職員、地域の方々等、多くの人に支えられています。そこで、チームの一員として、自分が力を発揮すること、チームの人に支えられていることに感謝すること、そして、自分も大切なチームの人を支えているという自覚をもつことも重要です。子ども達には、キラキラ輝ける笑顔で、そして、思いやりの心がもてるようにこれからも指導・支援したいと思います。

本校でのインフルエンザ症状による欠席者は減少しました。ご家庭での健康観察のご協力ありがとうございました。まだ、寒い日もありますので、今後も子ども達の体調管理にご留意いただけますようお願いいたします。